

公募要領

1. 職名・募集員数

1) グローバルCOE助教：1名

グローバルCOE助教には、国際的にアピールできる研究業績と持続型生存基盤パラダイム研究の形成に対する強い関心を併せもつ人材を求めます。

2) 研究員（グローバルCOE）：4名

研究員（グローバルCOE）には、文理融合の研究アプローチを幅広く自らの研究に取り込もうとするチャレンジ精神を有する人材を期待します。

※両職種に同時に応募することは妨げません。

2. 所属

文部科学省グローバルCOEプログラム「生存基盤持続型の発展を目指す地域研究拠点」
（京都大学・東南アジア研究所）

3. 採用期間

採用時より原則2年間。ただし、特に優秀と認められる場合には1年単位で採用期間を延長する場合があります。尚、雇用契約は年度単位での契約になります。

4. 職務内容

- 1) 本プログラムの趣旨に適う研究を遂行し、その成果を発表すること
- 2) 本プログラム運営のための各種業務

5. 応募資格

- 1) 持続型生存基盤パラダイム研究を担う国際的な研究者となることが期待される者
- 2) 採用時において、博士号を取得している者。ただし、博士号取得同等と認められる者で、本プログラムに直接関連する特に優秀な研究実績を有する者も可とする。
- 3) 文理融合など持続型生存基盤パラダイム形成のための多面的研究アプローチを自らの研究に取り込む限り、申請者のこれまでの研究領域が理科系、文科系であるかを問わない
- 4) 採用時において、本プログラムのグローバルCOE助教・研究員（グローバルCOE）として以外に常勤の職を有さない者
- 5) 採用時において、日本学術振興会特別研究員その他のフェローシップなど類似の雇用助成を受けていない者
- 6) 採用時において、上記職務の遂行が可能となる地域に居住する者
- 7) 国籍は問わないが、研究運営に必要な日常会話程度の日本語能力を有することが望まし

い

6. 労働条件および待遇

- 1) グローバルCOE助教は週40時間勤務（月～金曜日、裁量労働制）、研究員（グローバルCOE）は週30時間勤務（月～金曜日）です。
- 2) 給与および各種手当については、グローバルCOE助教は特定有期雇用教職員、研究員（グローバルCOE）は時間雇用教職員として、本学の基準にしたがった額を支給します。グローバルCOE助教は、助教と同程度、研究員（グローバルCOE）は年収380万円程度（他に通勤手当あり）です。
- 3) グローバルCOE助教・研究員（グローバルCOE）は、本学教職員として、保険制度に加入し、また本学図書館や学術情報ネットワーク等の施設利用資格が与えられます。

7. 応募書類

- 1) 応募用紙（書式あり）
- 2) 履歴書（参考書式あり）
- 3) 研究業績一覧（査読の有無を明記してください）
- 4) 競争的資金の獲得状況（代表/分担の別を明記してください）
- 5) 主要な研究成果（3点以内で、写しの提出も可とする）
- 6) これまでの主たる研究成果の概要（2000字以内）
- 7) これまでの海外における主たる活動状況と国際発信力に関する自己アピール（国際研究集会・臨地研究・語学能力等、1000字以内）
- 8) 持続型生存基盤パラダイム研究を遂行するうえでの抱負（2000字以内）
- 9) 応募者の学識・研究について照会可能な方2名の氏名・所属・連絡先（住所・電話番号・E-mailアドレス）

※グローバルCOE助教とグローバル研究員（COE）の両職種に応募する場合には、別々に応募書類を作成し、同一封筒で提出してください。ただし、その場合は、上記の「5) 主要な研究成果」については1部で結構です。

※応募の為に提出された書類は返却しません

8. 応募期限

2008年1月10日（木）必着

9. 選考過程と採用通知、採用予定日

1) 書類審査の合格者には、1月17日（木）までに、面接試験の詳細を連絡します。面接試験は、1月21日（月）・22日（火）に実施します。面接試験は英語によるプレゼンテーションを含みます。面接のための旅費は支給しません。その後、2月初頭までに、すべ

での応募者に対して、採否をE-mailにて通知します。採用予定日は4月1日です。

2) 海外在住者で、前述の日程の面接試験に出席できない方には、書類審査を合格したあとに、面接を別途設定いたします。

※適任者がいない場合には、採用を見合わせすることもあります

10. 書類請求および提出先

- 1) 応募用紙などは、東南アジア研究所ホームページのグローバルCOE「生存基盤持続型の発展を目指す地域研究拠点」Provisional Website からダウンロードすることができます。また、下記のグローバルCOEプログラム事務局に請求することもできます。
- 2) すべての応募書類は、グローバルCOEプログラム事務局宛として、簡易書留で郵送してください。その際、封筒表に「グローバルCOE若手研究者応募書類在中」と朱書きしてください。また、別途、応募用紙をE-mailの添付ファイル(word file)で下記アドレスまで送付してください。その際、件名は「助教応募用紙」あるいは「研究員応募用紙」としてください。

〒606 - 8501

京都府京都市左京区吉田下阿達町 46

京都大学東南アジア研究所

グローバルCOEプログラム事務局

Tel. 075-753-9192

Fax. 075-753-7395

E-mail gcoe_office@cseas.kyoto-u.ac.jp

11. 問い合わせ先

上記事務局に、E-mailで問い合わせてください。

12. その他：

- 1) 採用期間中に、他の常勤職への採用が決定された場合は、その着任日の一ヶ月前までに拠点リーダーにその旨を通知してください。この場合、その職への着任の前日をもって、グローバルCOE助教あるいは研究員（グローバルCOE）の職を解きます。
- 2) 本プログラムによって得た研究成果を公表する場合には、その旨を必ず明記してください。

以上